

2.2kW AC電源入力実験用インバータ

AC入力実験インバータ

KENTAC 13610-10-231/AC

30A用IPM使用(6素子) 50Aも制作可能
CPU SH2 7085

CPU基板及びI/Oボード基板の仕様

- CPU :SH2 7085(80MHz) KENTAC13610を使用
- I/Oボード :パラレル,A/D,D/A等のKENTAC13620を使用
上記2点の仕様についてはカタログ48P参照ください。

ドライバー基板の仕様

- 形式 :KENTAC-13630
- パワーデバイス :IPM(仕様下記)
- 制御入力 :TTLレベル(KENTAC40ピンコネクタ)
- IGBT入力 :フォトカプラにて絶縁
- 最大負荷 :3φ,200V,2.2kW以下のモータ

整流部基板

- 整流用ダイオード :600V,30A
- 突入防止回路 :パワーサーミスタ(12A) 上記写真は50Aモデル

再生回路 :付き(過電圧検出・再生抵抗外付け)

IPM(6MBP30RH060)の仕様

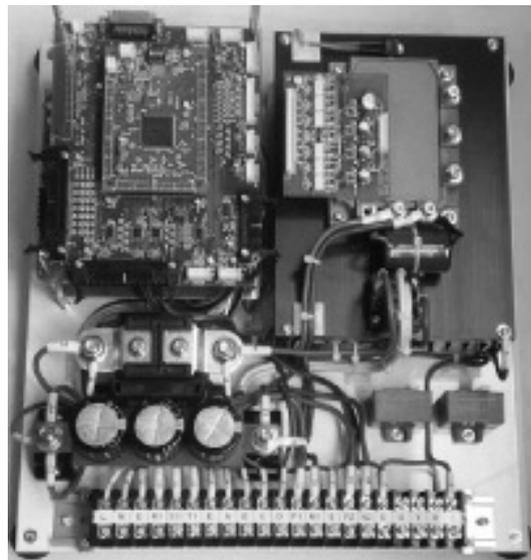
- IGBT6個内蔵
- MAX600V、30A電流センサ付15kHz対応 IGBT駆動回路内蔵
- 過電流、加熱及び電圧低下の検知、保護、エラー信号出力機能内蔵

制御用ソフトウェア

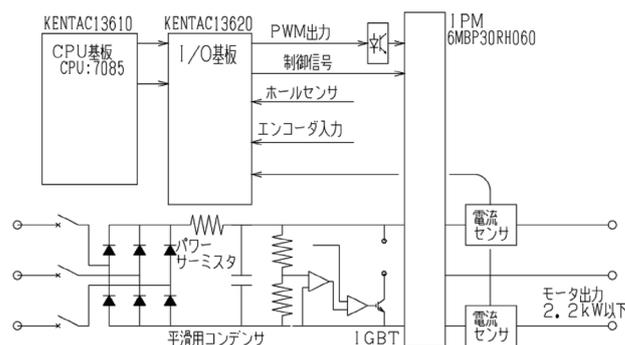
- V/F=一定のソフトウェアを提供
- 周波数可変用ボリューム付き

その他の仕様

- 電源 :3相AC200V、50/60Hz
- ファン :AC100Vファン付き
- 放熱器 :付き
- 制御電源 :AC100V,50/60Hz ±15V,+15V×4,+5V
- 電流センサ :50A×2個付き
- 制御用モータを回す方はご相談ください。
オプションで制御ソフトを作成致します。



上記写真は50Aモデル



DC電源入力実験用インバータ

DC入力実験用インバータ

KENTAC 13610-10-231/xxx

30A用IPM使用(6素子) 50Aも制作可能
CPU SH2 7085

CPU基板及びI/Oボード基板の仕様

- CPU :SH2 7085(80MHz) KENTAC13610を使用
- I/Oボード:パラレル・A/D,D/A等のKENTAC13620を使用
上記2点の仕様についてはカタログ48P参照ください。

再生回路:付き(過電圧検出・再生抵抗外付け)

IPM(6MBP30RH060)の仕様

- IGBT6個内蔵
- MAX600V、30A電流センサ付15kHz対応 IGBT駆動回路内蔵
- 過電流、加熱及び電圧低下の検知、保護、
エラー信号出力機能内蔵

制御用ソフトウェア

- 制御用モータを回す方はご相談ください。
オプションで制御ソフトを作成致します。

ドライバー基板の仕様

- 形式KENTAC :13630
- パワーデバイス :IPMモジュール(仕様下記)
- 制御入力 :TTLレベル(KENTAC40ピンコネクタ)
- IGBT入力 :フォトカプラにて絶縁
- 最大負荷 :3φ,200V,2.2kW以下のモータ

その他の仕様

- 入力電源 :DC約0~300V
- ファン :AC100Vファン付き
- 放熱器 :付き
- 制御電源 :AC100V,50/60Hz
±15V,+15V×4,+5V
- 電流センサ :付き